

## 令和6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

### 1. 課題の種類

②学校と地域の課題 02 青少年の健全育成

### 2. 背景・現状・課題の詳細

本村は人口600人程度と小規模な上、大学等の高等教育機関がないため、児童生徒が自身より少し年長者（大学生等）と関わる機会が比較的少ないと言えます。その機会を確保することで、普段の生活では得られにくい経験を与えることができ、児童生徒のキャリアプランに寄与すると考えます。

### 3. これまでの取組状況

村として複数の大学と連携協定を結んでいるが、本村子供教室関連での連携には至っていません。（当該大学の学生が本村子供教室にボランティアとして参加する等）

### 4. 上記課題の解決のため令和6年度に実施する具体的な取組

近隣の大学を中心に連携を図り、学生ボランティアの確保を行います。

### 5. 本事業で達成する目標（アウトカム）

大学生を中心とした学生ボランティアの受け入れを積極的に行うことを通して、児童生徒に大学生等と関わる機会を提供し、普段の生活では得られにくい経験を与え、児童生徒のキャリアプラン形成等の一助とします。

### 6. 目標達成度を測る指標

学生ボランティアの受け入れ延人数

### 7. 現状の数値

0人

### 8. 本年度の目標値

5人

### 9. 本年度の実績値

11人

10. アウトカムの達成に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）

04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた

これまで本村子供教室では、学生ボランティアの受け入れは実施していませんでした。そのなかでの受け入れは、ノウハウやツテがなく困難なものでした。しかしある県内大学の学生がイニシアチブ事業の一環として子供教室へのボランティア参加を希望してくださり、目標値を超える受け入れの人数を確保することができました。今後の課題としては、受け入れ事業の継続的な運用です。今回の受け入れ実績を大学等へ広報し、受け入れ体制があることを周知することで、新たな受け入れ事業へと繋げていきたいと考えております。